

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303 (直通)
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

去年今年貫く棒の如きもの

～新元号年度「立科教育」の出発に当たって～

立科町教育相談員 岩上起美男

本年度も、立科町教育相談員として、教育相談活動に携わらせていただきます。微力ではございますが、よろしくお願ひ申し上げます。

教育相談を、上記の「相談時間等」の通り、立科小・中学校の登校日の月曜日・水曜日・金曜日に行いますので、ご希望の方は、希望される会場で電話でご連絡をお願い致します。

5月1日の新天皇即位に伴って、新元号が4月1日に公表され、5月から新しい元号が施行されます。

したがって、この「平成31年4月」が、平成最後の年になり、月となりますが、ご退位になられる天皇・皇后両陛下のご功績とご人徳をお慕いし、常に国民を第一に案じられるお心をお察し致しますと、万感の思いにかられ、老いの目頭が熱くなるのを覚えます。

と同時に、新しい時代の到来は、古稀の身にとつてもまことに嬉しく、新時代への希望や期待には非常に大きいものがあります。

何としても、子どもたちが健やかに育つ時代であってほしいと願ひ、そのために、甚大な人災・天災が起こらないことを心から祈っています。

日本は、日本人固有の精神で日本文化を育み、今日の文明社会を築きました。

その一方において、明治から大正、昭和20年の終戦まで、凄惨な戦争を繰り返してきたのもまた事実です。その反省と教訓を風化させず、新元号の時代も、平成のように戦争のない時代であってほしいと切に願っています。

3ヶ月ほど前、某テレビ局のニュースキャスターが、「世界の82%の富を、世界の1%の人が所有している。」と報じました。日本企業の「内部留保」(利益剰余金・企業内の貯金)が過去最高の366兆円に上るというニュースもありました。日本の「年間国家総予算額」の3倍を優に超える大企業の途方もなく莫大な「内部留保」にただただ驚き、大社会の不当な貧富格差によって、子どもたちの教育機会の不平等が拡散しないことを願うばかりです。

そして、あの「葉っぱのフレディ」のように、誰もが天寿を全うし、心安らかに終焉を迎えられる時代であってほしいと念じています。

「もともと地上には道はない。歩く人が多くなれば、それが道になるのだ。」(小説「故郷」魯迅)という教えの通り、多くの人が新しい時代に希望を抱けば、その希望は必ず叶うと信じています。

しかし、その反面において、時代が変わっても決して変わらないものがありま

す。――万物の理です。

高浜虚子(1874～1959)の俳句「去年今年貫く棒の如きもの」が端的に示しているように、年が改まって、時代が変わっても、大自然の摂理や人間の性、自然と人間との関係など、万物の中心に貫流するものは微動だにせず、新しい時代も、人間の希望や欲望と、万物を貫く棒の如きものとのせめぎ合いの渦中で人々の生活が営まれることでしょう。

そのため、新しい時代においても、育てにおける問題や悩みの答えの多くは、やはり自分自身の中にあると思いますので、ご自身にきちんと向き合い、自問自答を重ねることが大切かと存じます。

しかしながら、自分で自分自身を厳しく尋問しても、解決できない問題や悩みがあります。このようなとき、決して先延ばしにせず、(立科町教育相談員に限りませんので)信頼できる方に相談されることをお勧め致します。人は、話すことによって、悩みの問題点を整理して、自分なりに、自分らしく問題解決の糸口を見出す存在であるからです。そして、児童・生徒の不登校やいじめ、非行、集団不適応などについて一緒に考え、悩み、話し、聴き合うことによって、必ずや、その時宜にかなった、子どもの健やかな成長のための「何か」を見出すことがで